



人類に奉仕する
ロータリー

Rotary Serving Humanity
RI会長 ジョン F ジャーム

ま
る
が
め

週報

会員数 59名

欠席者

来訪者

前々回出席率 71.92%(3/16)

出席者41名・欠席者16名・免除会員3名

秋山恒・天野・麻田・後藤・和泉享・倉田・眞鍋・松山・森・中川
中西・中野昌・野口・谷本・尾崎-会員

2017.3.30

Vol.54

No.34

(2652)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 山内 孝茂
幹 事 谷本 順三
会報委員長 稲田 達典

お知らせ

- 3月のプログラム
 - 2 (No.1)-クラブフォーラム
 - 11 (No.2)-善行表彰式
 - 16 (No.3)-地区研修協議会報告
 - 23 (No.4)-客 話
 - 30 (No.5)-会員卓話

- 他RC例会変更
善通寺→4/5 夜間例会

- ニコニコBOX;
よいことがありました
山内孝茂君 秋山憲夫君
一年間お世話になりました
頼富君

<ニコニコ会計累計/¥413,000>

- がんばるBOX;
息子が大学5年生になります
片岡君

<がんばる会計累積/¥250,000>

例
会
場
・
事
務
局

丸
亀
市
塩
飽
町
50
|
3
丸
亀
プ
ラ
ザ
ホ
テ
ル
内

■会長挨拶

千秋楽、稀勢の里の快挙に感動しました。けがを押して不屈の精神で出場、あきらめずに頑張る姿に日本中が感動したのではないのでしょうか。

今日は会議の話をしたと思います。会議というのは昔から長くて眠くて成果に乏しいと言われていました。歴史を振り返ると天下の流れを決めて語り継がれる会議がありました。1600年(慶長5年)7月の小山(おやま)評定(ひょうてい)です。今の栃木県小山市で徳川家康が開きました。北に進めて上杉景勝を打つかあるいは西へ転じて石田三成を倒すべきか。軍議の結果、諸将は東軍に結束して三成と戦う道を選びました。2か月後に関ヶ原の合戦を制するわけですが、地元の小山市は小山評定がなかったら東軍はあれほど結束しなかったと言っています。小山は家康の運を開いた『開運のまち』としてPRに力を注いでいるようです。市は市内の会議をすべて『評定』と呼んでいます。部長会議は「部長評定」と。市では呼称が変わっただけなのにだらだらした会議が減ったとのことでした。

一方、評定と言えば小田原評定で、小山よりも小田原の方が知名度は高いですが、こちらは長いばかりで結論が出ない会議の代名詞になっています。海外でも日本の会議や定例会議は酷評されています。今やインターネットでテレビ会議と時代に即した会議もあるようですが、会議を厳選し、迅速に議事を進める技を極めていきたいと思っています。

■会長報告

- 頼富会員が異動することになりました。
今後ともご自愛の上、より一層のご活躍を記念いたします。



■幹事報告

- IMのご案内 6月4日12:00~ハイスタッフホール(旧観音寺市民会館)
テーマ「小さな命にも思いやりを」基調講演 演出家 宮本亜門 氏

■例会事業;客話;丸亀市産業振興課 課長 徳永博保様

「丸亀市の産業について」
丸亀市産業振興支援補助事業について紹介頂きました。年間2,000万円の予算を確保している事業ですが、市民の方々から好評を得ており6月には予算を使い果たしているとのことでした。



【丸亀市産業振興支援補助事業 内容】

- ①企業インターンシップ(優秀な人材を発掘したいというニーズに応える)
- ②職場環境改善(職場環境をより良くしたい、福利厚生を充実したいというニーズに応える)
- ③人材確保(合同企業説明会に参加したい、人材サービスを活用したいというニーズに応える)

(裏へ続く)

2017.3.30

Vol.54

No34

(2652)

- ④人材育成(業務に関する資格取得や、社員研修を充実したいというニーズに応える)
- ⑤新規事業広告宣伝(新商品や新しい事業をPRしたいというニーズに応える)
- ⑥展示会出展(新たな販路を開拓したいというニーズに応える)
- ⑦IT等活用(自社ホームページ等を作成してPRをしたいというニーズに応える)
- ⑧自社PRツール作成(会社案内や商品カタログ・パンフレットを作成したいというニーズに応える)
- ⑨経営革新(専門家の招へい、各種機関と連携したいというニーズに応える)
- ⑩特産品開発・改良(特産品を使った商品(製品)を開発・改良したいというニーズに応える)
- ⑪デザイン等活用(自社商品(製品)のパッケージを刷新したいというニーズに応える)
- ⑫知的財産権取得(商標権や意匠権などを出願したいというニーズに応える)
- ⑬創業(創業後の販路を開拓したいというニーズに応える)

上記要望に最大10万円もしくは対象経費の3分の2を補助頂けるそうです。好評の理由として多種多様なニーズに応えられることと、申請の簡単さにあるようです。

地域事業への支援の最大の目的は「様々なパイプを構築したい、人間関係を創りたい」という狙いがあるそうです。その為にも、「事業に関係なくても結構です。どのようなことでも結構ですので、市役所の窓口と思って頂き、何でも産業振興課に相談を頂きたい」というご要望を頂きました。